

小児科



診療科長
浅井 康一

専門医資格等
日本小児科学会
小児科専門医・指導医
日本アレルギー学会
専門医・指導医
日本小児アレルギー学
会
代議員
日本小児感染症学会
代議員
Infection Control
Doctor
(ICT)
京都大学医学博士
京都大学医学部
臨床教授
京都小児科医会理事
専門分野
小児アレルギー
小児感染症
得意疾患
食物アレルギー
喘息・アトピー



NICU診療科長
松倉 崇

専門医資格等
日本小児科学会
小児科専門医・指導医
新生児蘇生法「専門」
コースインストラクター
専門分野
新生児

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	石塚 哲也		小児全般	小児感染症
医 師	北 誠	日本小児科学会専門医 新生児蘇生法「専門」コース インストラクター	小児全般	虐待・遺伝性疾患
医 師	仁井 純子	日本小児科学会専門医	小児全般	
医 師	橋本 有紀子	日本小児科学会専門医 日本人類遺伝学会 遺伝専門医	小児内分泌代謝	低身長・甲状腺・ 遺伝性疾患
医 師	岩井 篤	日本小児科学会専門医	小児血液がん	小児白血病

□ 診療科の特徴

施設認定等	京都大学小児科専門研修プログラム連携施設 周産期(新生児) 専門医指定研修施設 日本アレルギー学会専門医教育研修施設
-------	--

1. お子さんの、心とからだの発達を重視します。
2. スタッフ全員が、新生児から思春期までの小児の診療がおこなえるよう研鑽しています。
3. 新生児期から小児期に外科的治療が必要な例には専門施設と円滑に連携をとっています。
(京都大学病院・京都府立医科大学病院等)
4. 病気の治療にとどまらず、予防接種による感染症の予防にも力をいれています。
5. 長期入院が必要な小・中学生は、学習が継続できるよう院内学級(京都市立桃陽総合支援学校)が利用できます。
6. 京都市から委託をうけ院内病児保育を実施し、子供さんが体調不良で登園・登校できない時にも、ご家族の方が仕事を休まずにすむようサポートしています。

□ 主な対象疾患

新生児・低出生体重児（極低出生体重児1500g未満・超低出生体重児1000g未満）・新生児黄疸・糖尿病や甲状腺疾患母体からの出生児・新生児薬物離脱症候群

食物アレルギー・気管支喘息・アトピー性皮膚炎

低身長・甲状腺機能異常・糖尿病・肥満・先天代謝異常・遺伝相談

先天性心疾患・川崎病

てんかん・発達障害・自閉症・心身症・不登校など

□ 診療（業務）内容

1. 平成12年から新生児集中治療室（NICU6床）、産婦人科と密接に協力し24時間体制で赤ちゃんの診療を行っています。

2. 小児病棟（2-3病棟）では、肺炎・胃腸炎・脱水症・熱性痙攣など小児一般急性疾患の入院治療をしており、病棟保育士も常駐しています。

3. 外来診療は、一般外来の他、専門外来（アレルギー、内分泌、神経、心臓、NICUフォローアップ）や予防接種・健診があり、食物アレルギーでの食物経口負荷試験、内分泌疾患での負荷試験や学校検診（心電図・検尿）異常の精査をしています。

外来初診の場合、可能であればかかりつけの先生からの紹介状をご持参ください。

□ 診療実績（令和2年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
8.0名	244名	11.7名

外来患者数

1日平均患者数
16.1名

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第444回日本小児科学会京都地方会	離乳食拒否・発達遅滞経過観察中、大球性貧血を契機にビタミンB21欠乏症と診断された乳児例	浅井 康一	京都	2020/12/13

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	黒須 英雄	授乳支援必要度スコアの開発	日本母乳哺育学会雑誌	14	1	39-47	2020/7	原著論文	
和文	橋本 有紀子, 飛騨 美希, 小西 陽介, 浅原 哲子, 三宅 秀彦	不十分な遺伝カウンセリングの元で実施された無侵襲的出生前遺伝学的検査にて胎児性別を誤判定された妊婦の遺伝カウンセリングー見発症皮膚筋炎が検査に影響した可能性ー	日本遺伝カウンセリング学会誌				in press	原著論文	株式会社メディカルドゥ
和文	小西 陽介, 浅原 哲子, 飛騨 美希, 和田 美智子, 橋本 有希子, 北 誠, 日下部 徹, 荒木 由香里, 江本 郁子, 山賀 郁, 山口 健, 安彦 郁, 荒田 順, 山崎 誠二, 三宅 秀彦, 高倉 賢二, 小西 郁生	遺伝診療部のトリック身ー HBOCフォーキンググループの立ち上げから現在までー	医療	74	3	116-119	2020/3	原著論文	